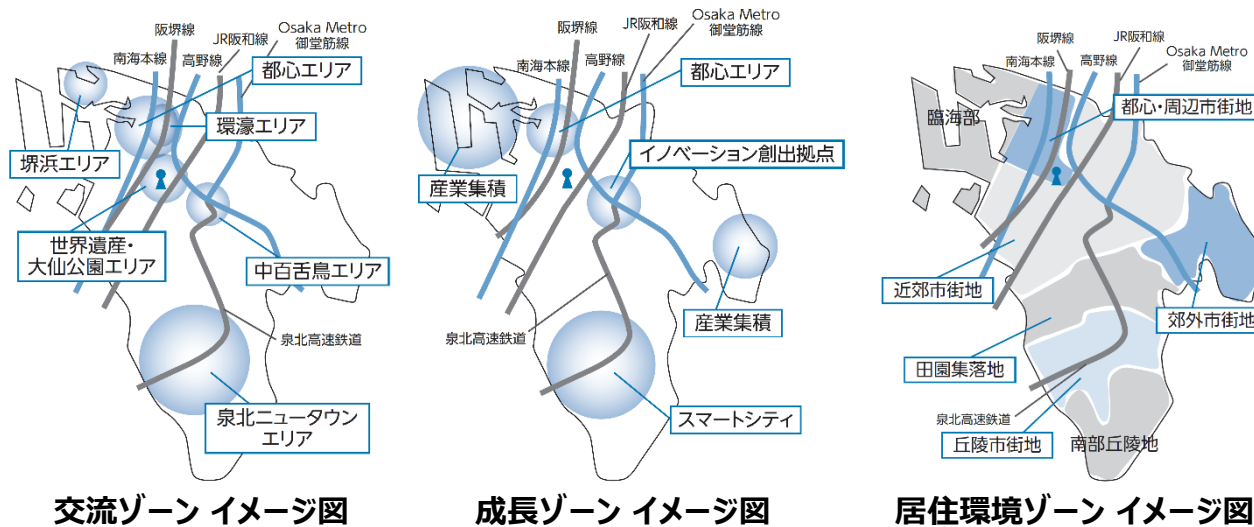


# 堺市基本計画2025 (2021年3月策定)【堺市】

## 都市像 空間像／エリア戦略



## 重点戦略4

### 人や企業を惹きつける 都市魅力 ~Attractive~

#### 施策 (5) 泉北ニュータウンの新たな 価値の創造

豊かな緑空間と都市機能が調和する泉北ニュータウンにおいて、様々なライフスタイルに対応した働く場の創出、健康長寿、子育て・教育の取組を推進することで、多様な世代が住み、働き、楽しみながら豊かに暮らすことができる魅力的なまちをめざす。

#### 取組の方向性

- 多様な世代が住み、働き、安心して暮らし続ける機能の充実
- 豊かな緑空間と多様な都市機能の調和
- 市民、企業、大学、団体など様々な主体との共創
- 持続可能なまちをめざしたICTや社会資本の活用

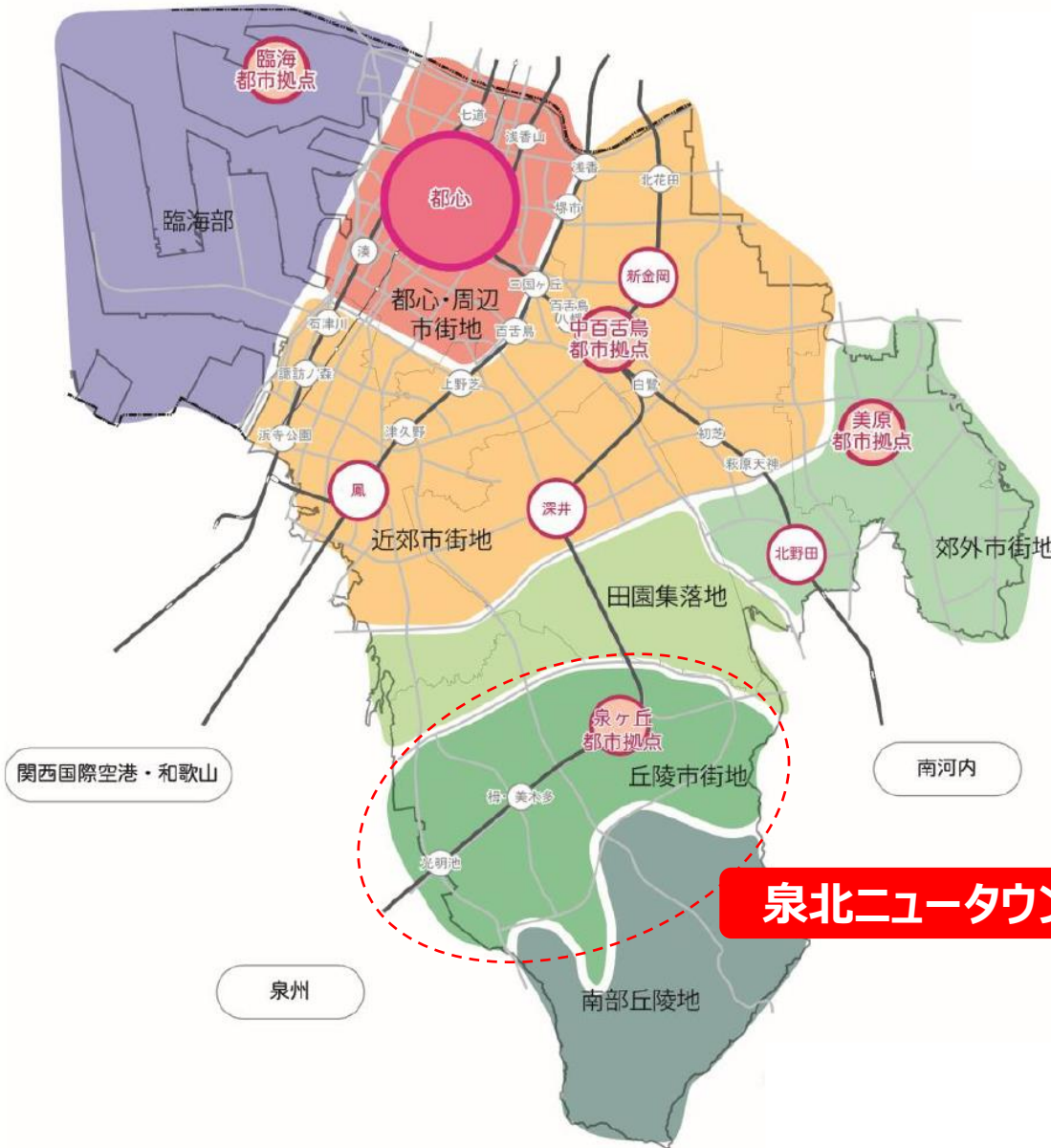
エリア		空間像	エリア戦略
交流ゾーン	泉北ニュータウンエリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな緑空間、多様な都市機能、大学のある強みを活かし、交流を生み出す21世紀型の田園都市</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代が集まり、新しいライフスタイルが生まれる取組を促進</li> <li>・近畿大学医学部など大学と連携した魅力を創出</li> </ul>
成長ゾーン	スマートシティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泉北ニュータウンにおいて、ヘルスケア・モビリティなど地域課題の解決に資するスマートシティ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTの活用、産学官連携などによるスマートシティの実現に向けたサービスの創出や企業投資などを促進</li> </ul>
居住環境ゾーン	丘陵市街地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全で快適な居住環境を維持・向上し、田園空間とも調和を図りながら、多様な世代が集い、働き、暮らす市街地</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑空間と都市機能が融合した、新しいライフスタイル・ワークスタイルの実現に向けた取組を促進</li> <li>・職住一体・近接による就業の場を形成</li> <li>・大学などの教育機関が立地する特性を活かし、地域とも連携した教育環境を充実</li> </ul>

(参考) 関連計画等

# 堺市都市計画マスタープラン (2021年7月改定)【堺市】

## 泉ヶ丘都市拠点

泉北ニュータウンの中核的タウンセンターに留まらず、**南大阪地域を代表し、ニュータウンのフロントランナー**として国内外事例のモデルとなる拠点として、豊かな緑空間や道路・鉄道・バスの交通利便性、生活を支える商業・文化・医療、学術機能等の集積を活かし、子育てや健康をテーマとした取組により、幅広い世代の人で賑わい、交流する拠点の形成を図ります。



- |  |      |  |          |
|--|------|--|----------|
|  | 都心   |  | 都心・周辺市街地 |
|  | 都市拠点 |  | 近郊市街地    |
|  | 地域拠点 |  | 丘陵市街地    |
|  | 駅前拠点 |  | 郊外市街地    |
|  |      |  | 田園集落地    |
|  |      |  | 南部丘陵地    |
|  |      |  | 臨海部      |

# SENBOKU New Design (2021年5月策定)【堺市】

新たな視点の設定

SDGsの達成

スマートシティの推進

健康長寿のまち

職住一体・近接型ライフスタイルの促進

かつてのベッドタウンから、より豊かに暮らせるまちへ  
～泉北ニュータウンの価値を高め、次世代へ引き継ぐ～

新たな価値を創造し、画一的な住宅中心であった「ベッドタウン」から、多様な機能が備わり、多様な暮らし方が実現できる「より豊かに暮らせるまち」へと変革し、将来にわたって多様な世代が快適に住み続けることのできる「持続発展可能なまち」をめざす。

## 基本方針1

多様な世代が住み、働き、  
安心して暮らせる



1 住まい



2 働く場



3 子育て・教育



4 健康長寿

## 基本方針2

豊かな緑空間と  
多様な都市機能が調和したまち



5 緑空間



6 都市機能



7 交通

## 基本方針3

住民、企業、大学、団体など  
様々な主体と思いを共有し創造する



8 市民交流



9 共創

## 基本方針4

持続可能なまちをめざし、  
ICT等の先端技術を用い、  
社会資本を活用・運営する



10 スマートシティ



11 プロモーション



12 都市経営

## 堺スマートシティ戦略 (2021年5月策定)【堺市】

### ■重点地域 SENBOKUスマートシティ構想のコンセプト

- ICTを活用した課題解決、暮らしの質向上 (Live Smart) を図り、暮らしを愉しむ (Play SENBOKU) ことのできる価値創造と、地域魅力の向上。
- 暮らしや働き方の利便性を高め、効率化・合理化・省力化によって生まれる“アソビ” (余白の時間、魅力的な都市空間) や、公園・緑道、ゆとりある住環境等の地域特性を活かし、暮らしを彩る“ゆしみ”を創造。

# Live SMART, Play SENBOKU

～暮らし愉しむ、アソビのあるまち～



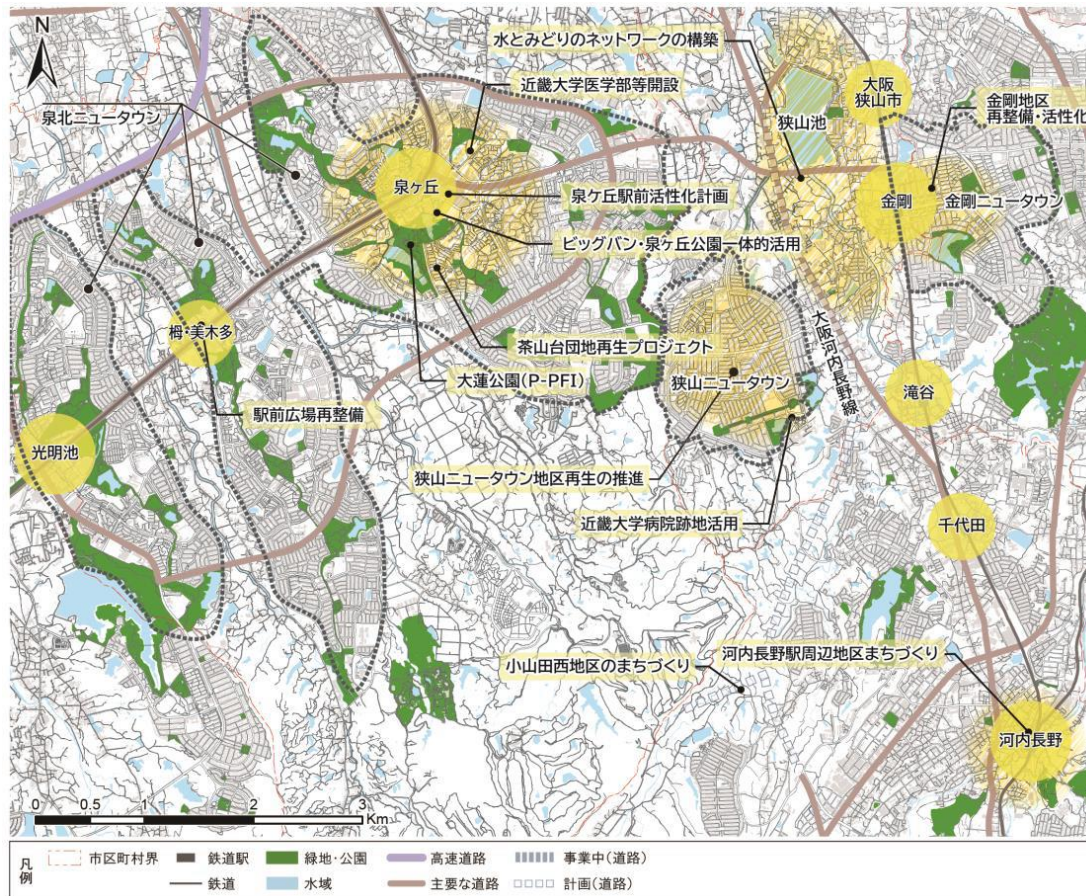


## (参考) 関連計画等

# 大阪のまちづくりグランドデザイン (2022年12月策定)【大阪府・大阪市・堺市】

## 大阪高野都市軸郊外拠点エリア <泉州・南河内地域の核となるエリア>

主要な駅を中心に複数の大規模ニュータウンが連坦する特徴を活かし、公的資産等の活用による地域の核となる多様な都市機能の導入や、新しいモビリティの導入をはじめとしたスマートシティの推進などとともに、複数のニュータウンを一体的なエリアとしてとらえ、交通連携による各拠点間のネットワークの強化や、各種取組の連携・ノウハウの共有等を行うことにより、エリア全体において拠点性や居住魅力を高め、泉州・南河内地域の核となるエリアの形成をめざします。



- ICTを活用した公民連携・分野横断的な取組の推進による、スマートシティ化の実現
- 近畿大学医学部・病院の開設や駅前施設の建替等、泉ヶ丘駅前地域の空間整備による、南大阪をリードする拠点の形成
- リモートワークやシェアオフィス、コワーキングスペースの活用による働く環境・場の創出
- 公的賃貸住宅活用地における脱炭素の視点を取り入れたまちづくりの推進や、近畿大学医学部・病院跡地等における公民連携による新たな都市機能の導入
- 住宅ストックのリノベーションの推進等によるライフスタイルに合わせた住まい、コミュニティの場の提供
- 既存公共交通網の活用やオンデマンド交通、新しいモビリティの導入等によるエリア内外の移動円滑化
- 鉄道事業者と連携した沿線地域の活性化によるエリア価値の向上
- 狭山池や大蓮公園、泉ヶ丘公園、寺池公園などを活かした水とみどりの魅力的な空間の創出 など

(参考) 関連計画等

# 大阪スマートシティ戦略 ver.2.0 (2022年3月策定)【大阪府】

- 大阪府及び大阪市では、「豊かで利便性の高い都市生活」を未来像とする副首都の実現と、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする大阪・関西万博を成功に導くことなどを背景に、「住民のQoL向上」を最大目標に掲げた、『スマートシティ戦略ver.1.0』を2020年3月に策定。
- 今回、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う新しい生活様式や国のデジタル政策の強化等、同戦略策定後におけるスマートシティを取り巻く環境の変化を踏まえ、これまで進めてきた取組みを土台に、大阪・関西万博に向け、イノベーションを加速させていくため、「大阪スマートシティ戦略ver.2.0」を策定。

## 『大阪スマートシティ戦略 ver.1.0』(2020年3月)

**スマートシティを取り巻く環境の変化**

- ▶ 新型コロナウイルスの課題とデジタル改革の動向
- ▶ 大阪のスマートシティ第2ステージに向けた優位性と機会

世界のデジタル化に向けた潮流

- ・デジタル技術の進展と実装
- ・デジタル化による SDGs 達成への貢献

### 基本理念

## 『大阪スマートシティ戦略 ver.2.0』(2022年3月)

#### 戦略ver.1.0の理念

- 住民が実感できるかたちで、「住民の生活の質 (QoL) の向上」をめざすことが主目的
- 「技術実験」に留まらず、「社会実装」のための取組を蓄積
- 公民連携による「民間との協業」が大前提\*

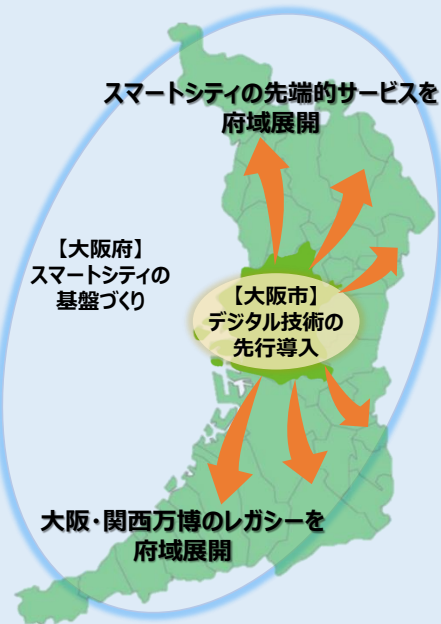
\* 戦略ver.2.0では「公民共同エコシステムの構築」にリニューアル

#### 新たに追加する理念

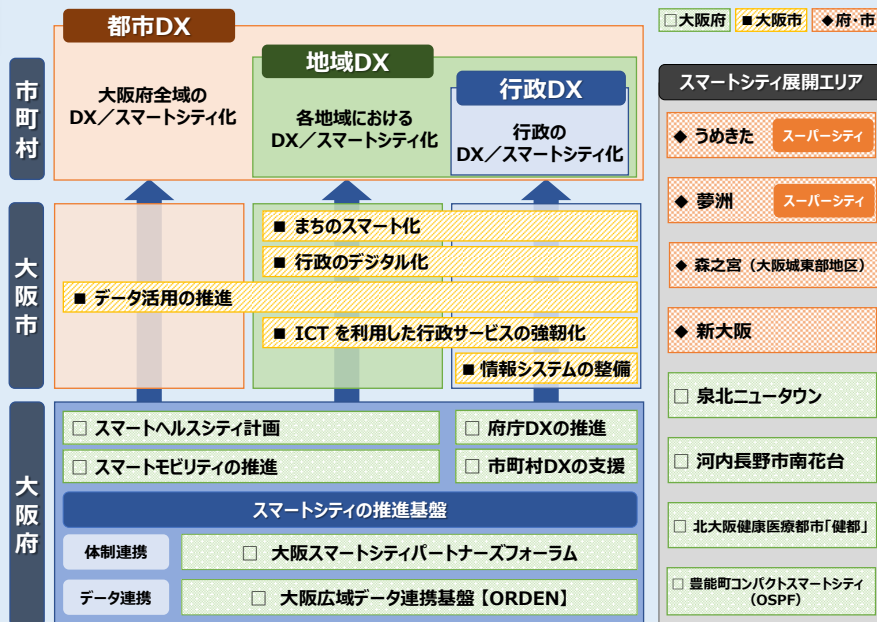
- 新型コロナ感染症に伴う生活様式の変化  
→ コロナ禍を踏まえた デジタル化による「都市免疫力の強化」
- 国による強力なデジタル改革の推進  
→ デジタル原則を踏まえた「国のデジタル政策を先導する取組み」
- 社会課題・地域課題の解決がビジネスマーケットとして急速に拡大  
→ 「公民共同エコシステムの構築」

### 役割

- 大阪府はパートナーズフォーラムやデータ連携基盤などのインフラ構築と、市町村DX支援などにより、府域のDXを推進。
- 大阪市は大阪府と連携した先導役として、府内市町村の行政DX推進をリード。



### 取組体系





## (参考) 関連計画等

# 泉北ニュータウン公的賃貸住宅再生計画 (2022年4月改定)

## 【泉北ニューデザイン推進協議会】

### 重点テーマ別取組方針

#### 1. 若年・子育て世代の居住促進

##### <公的賃貸住宅>

○建替え住宅では、従前居住世帯に配慮しつつ、子育て世帯が長く居住できる広さの住宅供給に努める

○集会所や空室等を活用し、子育て支援機能の充実、子どもの居場所等の確保を促進

##### <活用地>

○若年世代が魅力を感じる民間賃貸住宅や戸建て住宅の供給を促進

#### 2. 健康で幸せな暮らしの実現

##### <公的賃貸住宅>

○周辺病院や福祉関連事業者等との連携により、団地を含め地域と一体となった地域医療福祉拠点化を推進

##### <活用地>

○近畿大学医学部等の立地を活かした研究開発・産業集積拠点の形成

○地産地消のレストラン、産直マルシェ等、健康に資する施設の導入

#### 3. 多様な地域魅力の創造

##### <公的賃貸住宅>

○既存ストックを活用したカフェや子育てサービス、キッチンカーの導入等、団地のコミュニティ・サービス拠点化の推進

##### <活用地>

○近隣センターに配慮した新たなライフスタイル提案型の商業施設等の導入

○職住一体の住宅や、店舗など地域に開放し「住み開き」できる戸建て住宅の供給促進

#### 4. 周辺の環境・景観に馴染む脱炭素社会に向けた居住空間の創出

##### <公的賃貸住宅>

○周辺環境と調和した住棟壁面や階段などの外観デザインの向上による団地の魅力化

○建替え住宅は、高断熱性能と「ZEH-M」水準の検討

##### <活用地>

○木造等の新たなデザインを集合住宅にモデル的に導入

○活用地の戸建て住宅は原則「ZEH」。集合住宅は「ZEH-M」、施設は「ZEB」を誘導

#### 5. スマートシティの推進

##### <公的賃貸住宅>

○住戸リノベーション時に、リモートワークスペース等を導入

○シェアサイクルとの連携やパーソナルモビリティ導入の実証実験を推進

○民間事業者と連携したEV等向け充電設備の設置や、EVカーシェアの導入検討

##### <活用地>

○EV等向け充電設備の設置や、災害時にEV等を移動電源とした住宅等の供給促進



集会所を活用した図書館・交流スペース  
(府社茶山台団地「茶山台とよかん」)



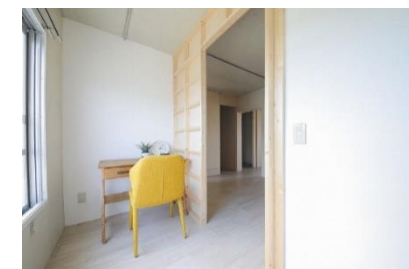
活用地への医療施設の導入  
(近畿大学医学部・病院 イメージ図)



団地でのキッチンカーによる買物支援  
(堺市による実証プロジェクト)



景観配慮、ZEHの戸建て住宅地  
(SMA×ECO TOWN晴美台)



ワークスペース付き住宅  
(府社茶山台団地 ニコイチ)

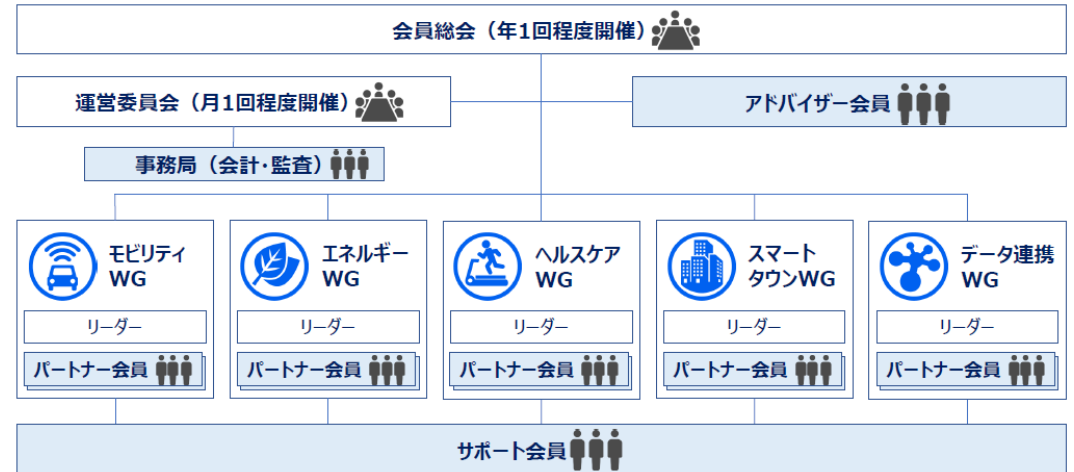
(参考) 関連計画等

# SENBOKUスマートシティコンソーシアム (2022年6月27日設立)

## コンソーシアムの目的

- 堺スマートシティ戦略の理念に賛同した企業・大学・南区自治連等が参画。
- 公民連携でICT を活用しながら、分野横断的に地域課題の解決や住民の暮らしの質の向上を図り、泉北ニュータウン地域ならではの魅力を創出。
- 運営委員会（南海電鉄・大阪ガス・NTT西日本・堺市）が公民連携によるイコールパートナーとして、コンソーシアムの運営を実施。

## コンソーシアムの体制

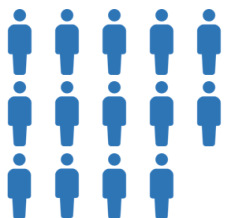


## 令和4年度の実績及び主な事業

会員数  
(令和5年6月1日現在)

**140** 団体

(設立当初102団体)



コンソーシアム発 事業数

**11** 事業



### NANKAIオンデマンドバス 実証事業



運行期間：令和5年1月10日～3月10日  
運行時間：9時～18時  
運行区域：桃山台、鴨谷台、光明池駅、  
榎・美木多駅、泉ヶ丘駅  
停留所数：29か所  
車両数：2台  
料金：1乗車200円（泉ヶ丘駅発着は300円）

### 電動カートシェアリング 実証プロジェクト



<電動カート>



<シェアリング>

内容：電動カートを自立移動ツールに  
地域住民へのシェアリング活用  
実施場所：公社原山台団地（南区原山台1丁）  
実証期間：令和4年6月1日～6月15日